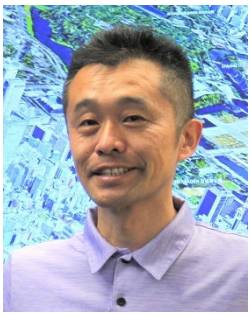
JAREFE 日本不動産金融工学学会

2026年度　第６回合同研究会

主催：日本不動産金融工学学会 ＋ 日本リアルオプション学会
共催：青山学院大学大学院国際マネジメント研究科

講演テーマ：『戦災・災害・都市の公共的インテリジェンス』

講師：渡邉 英徳（わたなべ・ひでのり）氏
（東京大学大学院情報学環・学際情報学府 教授）



1974年生。東京理科大学理工学部建築学科卒業（卒業設計賞受賞），筑波大学大学院システム情報工学研究科博士後期課程修了，博士（工学）。株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント，首都大学東京システムデザイン学部准教授を経て，2018年より現職。京都大学地域研究統合情報センター客員准教授，ハーバード大学エドウィン・O・ライシャワー日本研究所客員研究員などを歴任。現在，東京大学コミュニケーション戦略本部・副本部長。

情報デザインとデジタルアーカイブを研究。戦災・災害・都市のOSINT（オープンソース・インテリジェンス）活動を行っている。講談社現代新書「データを紡いで社会につなぐ」，光文社新書「AIとカラー化した写真でよみがえる戦前・戦争」（共著）などを執筆。「日本賞」，グッドデザイン賞，アルスエレクトロニカ，文化庁メディア芸術祭などで受賞・入選。岩手日報社との共同研究成果は日本新聞協会賞を受賞。最近は、ウクライナ侵攻、イラン戦争の、東日本大震災、能登半島地震、ネパール洪水などインテリジェンス分析でテレビ出演等多数

司会：小林秀二氏　早稲田大学国際不動産研究所　本研究会の世話人（ディレクター）

日時：2026 年 11月28日（土）15:50～16:50（質疑応答含む）
場所 ：専修大学 神田キャンパス10号館8階10082教室
千代田区神田神保町3-8 https://www.senshu-u.ac.jp/about/campus/ **および ZOOM**

第6回「Real×AI研究会」は、共催の日本リアルオプション学会主催「JAROS 2026 研究発表大会」のシンポジウムの講演3として併催します。今回は、「戦災・災害・都市の公共的インテリジェンス」をテーマに、東京大学の渡邉英徳教授をお迎えします。近年、衛星画像や地理空間情報、各種オープンデータを活用したOSINT（オープンソース・インテリジェンス）が、紛争や災害の実態把握、リスク分析の新たな手法として注目されています。

本講演では、ウクライナや中東の紛争、ホルムズ海峡をめぐるエネルギー安全保障、東日本大震災や能登半島地震などを題材に、AIやデータ分析を活用した情報の可視化と分析の可能性を探ります。さらに、都市・インフラの被害把握や復興、経済活動への影響など、不確実性の高い社会における公共的インテリジェンスの役割と展望について考えます。

なお、シンポジウムは以下の講演もあります。ご参加可能です：
講演1 13:30－14:30 「GX-ETSの概要と展開」 司会：伊藤 晴祥氏（青山学院大学）
有村 俊秀 氏（早稲田大学政治経済学術院 教授）
講演2 14:40－15:40 「不確実性の高まるエネルギー調達環境と、エネルギー安定供給確保に向けた課題」 司会：服部 徹 氏（電力中央研究所）
松尾 豪 氏（エネルギー経済社会研究所 代表）

参加費：**無料**　　参加対象：**オープン（一般/非会員も参加可）**
録音・録画・撮影等はご遠慮ください
参加申し込みフォーム（JAROS） https://fs220.xbit.jp/r766/form2/
参加締切りは：11月23日（月祝）まで。
日本不動産金融工学学会ホームページ https://www.jarefe.com/
※ 問い合せは日本不動産金融工学学会（ 03-3551-9893 または、office@jarefe.com、平日16:30まで）へ。会場の専修大学に問い合せをしないようお願いします。　　― 以上 ―